

障がいはい、気にしてもしょうがない

フジコーポレーション株式会社に勤務し、昨年9月に優秀勤労障害者として県から表彰された須貝さん。ハンディキャップを背負いながらも、周りに頼られる職人として活躍しています。障がいとの向き合い方や今後の目標について伺いました。



須貝 英夫さん(廿六木三区)

フジコーポレーション株式会社
令和7年度 優秀勤労障害者県知事表彰 受賞

▶職場での様子



「けがをしたからできない」は、ない」
50年ほど前、パンチプレス作業中の事故で右手を失った須貝さん。ハンディキャップを背負いながらも、現在はスポット溶接の職人として、納期遵守や作業の円滑化を支え、周囲の社員から頼りにされる存在になっています。その活躍が評価され、県知事表彰を受賞しました。

「けがをした当初は、『右手が使えないからできないだろう』といった心無い言葉を受けることもあり、仕事を辞めてしまおうと落ち込んだこともありました。しかし、先輩や周囲の人たちが、気にせずにつき合ってくれたため、今でも仕事を続けています」

障がいがありながら仕事をする上での困難や乗り越える方法を伺いました。

「今は障がいを気にしていませんので、困

難を感じたことはありません。できる・できないは考えず、どのようにするのか方法を考えるようにしています。挑戦して駄目だったら、また別の方法を考え、行動するだけです。何とかなるという気持ちでいると、何とかかなります(笑)」

この姿勢は若手社員への指導にも活かしています。自力で解決する力を養うため、答えを全て教えず、大まかな助言にとどめるようにしていると語ります。

最後に、今後の目標を伺いました。

「体が動くうちは、仕事も趣味も続けたいです。負傷後も、やりたいことは何でも挑戦してきました。今は、5日間かけて、福島県から新潟県の山々を縦走したいと思っています。楽しみがないとつまらないので、面白いことを見つけ、これからもチャレンジしていきたいです」

大ちゃんコラム

燕市長 佐野 大輔

「ごみ袋あります&値上げの予定はありません」
5月末から6月初め、市指定のごみ袋が店頭から消えたこと市民の皆さんからお問い合わせをいただきました。

今年度分のごみ袋については、中東情勢の影響により資材不足の懸念があったことから、中東材から中国材に切り替えました。これにより、製造費用が上昇しましたが、議会の理解を得て予算を増額しています。そのため、例年通りの数量を継続して製造できております。なお、製造費増加に伴うごみ袋の値上げ予定はありませんので、どうぞご安心ください。皆さんには、これまで通りご家庭で必要な分だけを購入していただくなど、冷静な対応をお願いします。

(詳細は11ページに記載)

マイカーローン特別金利キャンペーン!

Web 完結型 限定!

通常 年1.29% (保証料別)

最優遇金利 年1.09% (保証料別)

※別途保証料が年0.38%かかります ※最優遇金利は当金庫指定の要件に該当する方のみ金利です ※金融情勢が大幅に変動した場合、金利を見直す場合があります

▶線り返済等の条件変更の場合、所定の手数料が必要となります ▶店頭で商品概要説明書をご用意しております ▶金利引下げ項目、返済試算額等の詳細は、店頭または当金庫HPでご確認いただけます 令和8年5月1日現在

「詳細&申込みはコチラ!!」

「こちらは有料広告です。」

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。